

無意識な日常を意識すれば、総政の学びが見えてくる

4つの異なる学科が集う関西学院大学総合政策学部。一見関わりのない分野が交わる時、どのような関係が生まれるのだろう。都市政策学科の八木康夫教授と総合政策学科の本田盛教授との対談から、総政の学びの可能性をさぐる。

◆言語と建築に潜む 共通の「ルール」

（八木）本田先生の専門分野である言語と私の専門分野である建築とは、まったく関わりがないように、意外な共通点がありますよね。

（本田）そうですね。言語にも建築にも「無意識のルール」が存在している、といったところでしょうか。言語の分野でいえば、私たちが当たり前に日本語を

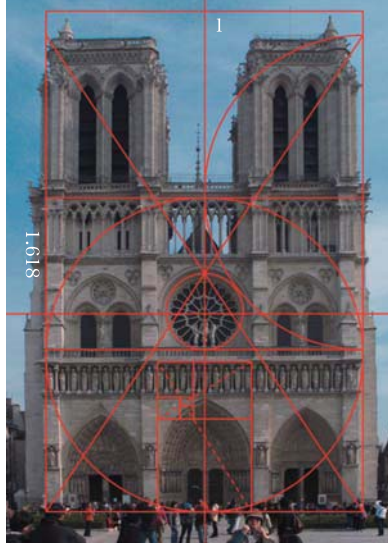


施設名称が一目でわかるサイン事例(アムステルダムスキポール空港)

◆異なる観点で新たな「街の可能性」を生み出す

（本田）街の風景といえば、「言

（本田）身近なところといえば、総政のある神戸三田キャンパス



ノートルダム寺院における黄金長方形

（八木）その点、建築物の集まりが織りなす街の風景は、その時代ごとにおけるルールで編成されているといえます。日本各地では常に景観論争や風景の変化が起こっていますが、これが街の活性化をもたらしているという見方もあります。アフォードانس※

（本田）個々が集まることで広がりや深みが出ることも共通していますよね。言語は個々の文やメッセージが集まり「談話」となります。ポライトネス理論」という談話理論によると、人が円滑な人間関係を確立し、維持しながらコミュニケーションをする時、相手との関係や距離感によって言語表現を選ぶといえます。ルールが無意識に働



椅子としても使われている京都駅の大階段

（本田）これまでは言語に「景観」という認識がありませんでしたからね。言語景観の研究上



オフィシャルな言語景観のひとつ、施設内のサイン (ジョン・F・ケネディ空港)

わかる! 総政用語

リサーチ・フェア… 学生が日頃の研究成果を発表する学部の一大イベント。『知の祭典』として政策プランコンテストやディベート大会、英語でのプレゼン(EC Presentation)などスタイルは多彩。2012年度は11月9日(金)、10日(土)に開催。詳細が決まればHPでお知らせ。 学科所属… 入学時は総合政策学部として在籍し、2年生から自分の関心や将来の進路に応じて4つの学科のいずれかに配属されます。例年11月以降に学科所属を行うための手続きを行います。



都市政策学科 八木康夫教授 やぎ やすお

【担当授業科目】 建築設計演習 現代建築デザイン論



総合政策学科 本田盛教授 ほんだ ますお

【担当授業科目】 言語学概論、英語音声学、英語学



総合政策学科

「自然と人間の共生、人間と人間の共生」のあり方に関する学問横断的な議論を深め、実社会で活かすことのできる政策形成をめざす学科です。自然環境から食糧、紛争、貧困、人権、異文化理解など複雑に絡み合う地球規模の問題を解決していきます。



メディア情報学科

政治、産業、経済、文化など多様な分野において情報通信技術やメディアを駆使して、人にやさしい豊かな情報社会に貢献できる、政策提案とマネジメントについて学ぶことのできる学科です。



都市政策学科

総合的かつグローバルな観点から都市における問題を発見し、快適で安全な都市空間を提案、創造、運営する能力を身につけることができる学科です。1級建築士の受験資格を得るための「建築士プログラム」も開講しています。



国際政策学科

国連が掲げる3つの課題である「国際社会における平和構築」「国際発展と開発」「人権の擁護」を中心として、国際政策の理論と実践を研究。グローバルな視野から政策分析・立案能力など総合的な実務能力を学びます。

◆総合政策学部は入学時には学科に所属せず、多様な分野を幅広く学習し、2年次から学科に所属して専門的な学びを開始します。

「八木」こうした社会の姿や、これからの日本に求められるものを考えた時、総政のような「縦割りではない横型の学び」の大切さをひしひしと感じます。言語景観が言語だけで構成されるわけではなく、何か問題が起きた時に単一的な視点だけでは問題解決はできません。様々な領域の学びが存在する総政では、**自分の専門分野で**

日常の全てが総政の学びのフィールド

分には、まさに「ポライトネス理論」が仮定していることがそのままだけではありません。ちゃんと書かないと心配」という日本人の気質もあると思いますが、結果分かっていくと本末転倒です。
（八木）余計な言葉や説明のほかに、形容詞のつけすぎでかえって分かりにくくしているケースは多いですね。さらに、災害などの情報の伝達はタイムラグが気になることもありますが、私たちそれぞれがその分野が協力すれば景観の中へ

は**ない**観点からも**学び**を深めることができる。このフィールドの広さこそが、総政の強みといえるでしょう。
（本田）言語も建築もそれ自体は独立した別々のカリキュラムで学ぶことができますが、両者のかかわりが見えてきません。その点、総政では自分の専門分野以外から関わりを見つけ出

上手く言語を落とし込むことができると思います。今後、都心の大型モーターに瞬時にサインを出すなどシンボリックな景観が増えていくかもしれません。
（本田）異なる視点をもって私たちがいる街を眺めてみることは、新しい発見や可能性に繋がります。
（八木）そうですね。言語と建築がこのようなお互いの視点を持ち寄り協力し合えば、今までにない良好な景観づくりが可能になると思います。

（本田）「ステレオタイプでない人物」ということですね。とらえ方は人それぞれでも、どんなことにも発見や学びがあることが隠れている。総政には確かなことが、それがたくさん転がっています。普段何気なく目にしてる道路の信号一つにも、ルールが隠れている。けれど、どちらの方向に赤が置かれているか、と意識を傾けている人は多くはないでしょう。
（八木）無意識に過している日常でも、「なぜなんだろう?」「自

と、学びのアクションを起こすことができます。一般的な学びのルールにはまらず、自分で将来を見つけてもらいたいですね。
（八木）あとは、学びの醍醐味を知るために「学びの奥座敷」に進んで欲しい。学びにはそれぞれ深さがある、それが融合していく中で物理的にも精神的にも広がりをみせます。そういう奥座敷までのルートを探すことができる、多方面からアプローチができるような学生が、就職活動でも評価される傾向があるように感じます。



信号機は身近な言語景観のひとつ。一番重要な赤色は横型の場合は右端に、縦型の場合は一番上に配置。

分だつたらこうするのにな」という意識を持つだけでも、もっと面白くなりますよ。普段何気なく生活しているだけでは、気づかないことがたくさんあります。それを探して学ぶことの面白さに気付いてほしい。
ほかに、ルールに縛られず、街を「迷うこと」も楽しんでほしい。
（本田）後は自らの可能性を信じて、それを教員としては、学生が卒業後に「関西学院大学総合政策学部卒業です」といって頭張って欲しいです。いつまでも大学名で評価されるのではなく、個人を評価してもらえるような、そういうスキルやモノの見方を見つけてもらいたいです。

詳しくは **WEB** で!!

総合政策学部 AO入試出願始まります! (2013年4月入学)
「国際社会の中で自分の考えをアピールできる人」に期待!
AO入試日程 第1次審査: 2012年10月6日(土)
第2次審査: 2012年10月20日(土)
出願受付期間 2012年9月7日(金)~14日(金)
第1次審査は「英語リスニング方式」「日本語小論文方式」のいずれかを選択
第2次審査は面接(日本語) ※第1次審査通過者のみ (詳しくは入試部ホームページにて)

発行 関西学院大学 総合政策学部
〒669-1337 兵庫県三田市学園2丁目1番地
TEL.079-565-7601 FAX.079-565-7605

さらに詳しい内容は**WEB**で!
<http://www.kg-sps.jp>



◆総合政策学部の授業紹介◆

「言語学概論」

「環境問題の社会史」

あなた「動く」総合政策学部の100冊
飯島伸子著(有斐閣・2000年)
本書では、環境問題と人間社会はどのような関わり合ってきたのかについて、時代ごとに追跡し問題点を論じている。
今井一郎教授(総合政策学科)



場所によって表示の仕方が違う三田市のマンホール

「建築士プログラム」では、1年生の秋学期から、スケッチ・平面・立体の作図法を学び、建築設計を行うための準備が始まります。2年生からは「1級建築士」を目指して、建築設計演習の授業が展開されます。
コンセプティング/プログラムミング/立体造形/スケール/単位空間/ランドスケープ/コンプレックス/建築企画/大規模空間構成力等々の能力を養い、理想の空間をCAD/CG/模型等々で表現します。ワクワク、ドキドキ、楽しいですよ!
ことばは自然や人間社会と深くかかわっています。いま世界では2500もの言語が消滅の危機に瀕しているという事は知っていますか、ひとつの言語の消滅は私たちの社会生活や地球環境に大きな影響をあたえるといわれています。総合政策学部の言語学概論では生物環境、社会や経済、都市問題などの分野とことばのかかわりについて考えていきます。
本書では、環境問題と人間社会はどのような関わり合ってきたのかについて、時代ごとに追跡し問題点を論じている。
飯島伸子著(有斐閣・2000年)
至る日本の社会・経済的変化を、多くの事例を通して、跡づけ時代を通して変わらぬ社会関係にメスを入れたものである。日本の公害問題を理解する上で、絶好の入門書と言える。